



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2023年3月27日

報道関係各位

コーヒーグラウンズ^{※1}をアップサイクル^{※2}したバスグッズブランド 『BathCafé（バスカフェ）』から新商品を発売！

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行）は、生活者にとっての新しい価値提供を目指して企画・販売している、コーヒーグラウンズ^{※1}をアップサイクル^{※2}したバスグッズブランド『BathCafé（バスカフェ）』から新商品を発売します。



コーヒー好きのための、のまないコーヒーギフト。

※1 抽出を終えたコーヒー粉の呼称。全日本コーヒー協会が呼称を提案し、普及啓蒙に取り組んでいる。

※2 本来であれば捨てる廃棄物に新たな付加価値を持たせ、別の新しい製品に生まれ変わらせること。

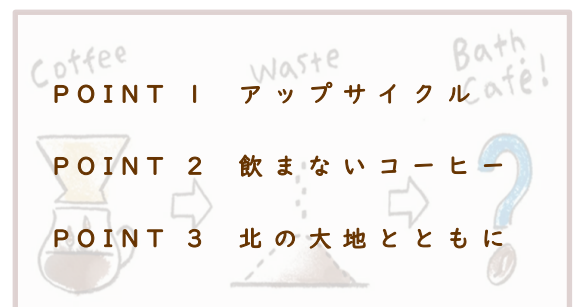
【BathCaféとは】

北海道コカ・コーラボトリング株式会社札幌工場ではコーヒー飲料を製造する際の副産物である“コーヒーグラウンズ”をアップサイクルした、人と自然に優しいバスグッズブランドです。当社初のアップサイクルブランドとして2021年11月から札幌市内を中心に全国の雑貨店、カフェ、ホテルなどで発売しています。

【企画背景】

当社工場から出るコーヒーグラウンズを全く新しいモノづくりに活かさないかと構想が始まり、コーヒーには「ほっとひといき」や「心が落ち着く」という温かなイメージがあることから、お風呂との親和性を感じ、をバスグッズに使うアイデアが生まれました。

企画・デザイン・製造に至るまで全ての工程を北海道内の企業様にご協力いただき Made in Hokkaido の『BathCafé』が誕生しました。



【商品一覧】

コーヒースクラブソープ

内容量:85g 税込価格1,320円



石鹸

コーヒーグラウンズの粒子によるスクラブ感と、コールドプロセス製法による天然の保湿力で肌を整えます。毎日使える自然の原料にこだわった石鹸に仕上げました。

コーヒースクラブ

内容量:100g 税込価格2,970円



NEW

ボディスクラブ

コーヒーグラウンズを微粉碎したスクラブをベースにシュガーとアルガンオイルで仕上げたボディスクラブです。使用後はコーヒーのアロマがほんのり残り、お風呂上がりにカフェタイムのような余韻を味わって頂くことが出来ます。

コーヒースクラブクレンジング

内容量:120g 税込価格2,970円



NEW

クレンジングジェル

自然原料にこだわった優しい使い心地のクレンジングジェルと、コーヒーグラウンズを微粉碎したスクラブの効果で、普段のスキンケアでは落としきれないお肌の汚れや古い角質にアプローチし、表面をなめらかにしながら、お肌をすこやかに保ちます。

コーヒーアロマバスシュガー

内容量:40g 税込価格440円



入浴用バスシュガー

ペーパードリップコーヒーのようにゆっくり溶け出すピターなコーヒーアロマと、肌にうるおいを与えるバスシュガー。一日の疲れをほどこし、心も体も柔らかに。

カプチーノアロマバスシュガー

内容量:40g 税込価格495円



NEW

入浴用バスシュガー

カプチーノをイメージしたエスプレッソ&バニラのコーヒーアロマと、肌にうるおいを与えるバスシュガー。気分転換や、頑張ったあとのご褒美に。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：平賀 TEL 011-888-2091



■取材へのご対応について

ご希望に応じて撮影用サンプルのご提供も承ります。

ご希望の方は〈本件に関するお問い合わせ先〉までお申し付けください。

【公式ホームページ URL <http://bathcafe.official.ec/>】

■協力企業

企業名	役割
株式会社 Croire（札幌市）	製造開発ディレクション
空のアトリエ（砂川市）	パッケージデザイン
株式会社医食同源（函館市）	石鹼の製造
東香産業株式会社（江別市）	バスシュガーの製造
株式会社 ICELLEAP（芦別市）	スクラブ・クレンジングジェルの製造

■シリーズ累計販売個数（2021年11月～2023年2月末）

約 6,000 個

（コーヒースクラブソープ+コーヒーアロマバスシュガーの2商品合計）

【参考】

■アップサイクルとは

本来であれば捨ててしまう廃棄物に新たな付加価値を持たせ、別の新しい製品に生まれ変わらせること。

当社ではSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」への取り組みとして、課題の解決に貢献していくことを目指しています。

■副産物活用の事例

【江別市角山の酪農企業 株式会社 Kalm 角山様との取り組み】

2020年8月より、コーヒーグラウンズを牛の敷き藁として活用し、使用済みの敷き藁はバイオマス発電原料としても活用しています。

【学校法人酪農学園との包括連携協定】

2021年7月より、茶殻を加工し家畜用飼料として有効活用する研究に協働で取り組んでいます。

〈取り組み一覧〉

1. 「清涼飲料水の空容器における資源循環を目指す取り組み」（学園内のPETボトル資源循環）
2. 「災害時支援に関する取り組み」（災害発生時の備蓄水の確保、災害対応型自動販売機による商品の無償提供、家畜用飲み水の提供）
3. 「教育・研究に関する取り組み」（家畜用飼料としての茶殻の有効活用に向けた研究）